

論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 (学 術)	氏名	BEGUM MOMOTAJ
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Negotiation for Extended Gender Roles in Islam: Women in Tablighi Jamaat in Bangladesh			
論文審査担当者 主 査 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 外川 昌彦 印 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 教授 池田 秀雄 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 教授 吉田 修 審査委員 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 関 恒樹 審査委員 静岡大学教育学部 教授 池田 恵子			
〔論文審査の要旨〕 本博士論文は、ムスリム社会における民衆的なイスラームの啓蒙運動であるタブリーグ・ジャマート運動を事例に取り上げ、特に女性たちの活動に焦点を置くことで、その活動を通じたバングラデシュにおける女性たちの社会的位置づけの変化について考察している。 本論文の構成は、以下の通りである。第一章では、ジェンダー論や文化人類学の先行研究を通じた、課題の検証を行う。第二章では、タブリーグ・ジャマート運動の思想と活動内容を検証する。第三章では、タブリーグ・ジャマート運動におけるジェンダー意識とその特徴を検証する、第四章では、バングラデシュにおけるタブリーグ・ジャマート運動の歴史的展開と女性の問題を検証する。第五章では、調査地における女性たちの活動内容を取り上げ、そこに見られるイスラーム的価値の問題を検証する。第六章では、運動を組織する女性たちのリーダーシップの問題や男性親族との交渉を通して生まれる社会的活動領域の問題を検証する。第七章は終章として、結論をまとめる。 公聴会における質疑応答では、バングラデシュにおけるタブリーグ・ジャマート運動の政治的スタンス、扱った2つの事例と分析枠組みとの整合性の問題、女性による運動が広くバングラデシュ社会に与える影響の広がり、予備審査から修正された点、報告レジメの図が、一部、本文には反映されておらず分かりにくいことなど、多岐に渡る質疑がなされた。 これらの質問に対して、候補者からは概ね適切な応答がなされ、残された課題については、最終提出に向けた博士論文の作成の中で対応がなされることが確認された。 本論文は、部外者が聞き取り調査を行うことが困難な、女性だけで行われるイスラームの宗教的活動に参加し、実地に調査を行った資料に基づいてまとめられており、その一次資料に基づく分析は、これまでのバングラデシュ研究でもほとんど報告された例はなく、広くイスラーム研究においても未見の資料が多く見られることから、資料的意義の高いものと判断された。そのイスラーム研究や文化人類学研究に与える示唆は、学位論文の成果に相応しいものとして評価された。 以上の審査を経ることによって、審査委員会では全員一致で、本論文を、博士(学術)の学位を授与されるに値するものと判定した。			